

No.29

2005年5月発行

# 淀川水系 流域委員会 淀川部会ニュース

<http://www.yodoriver.org>

## CONTENTS

- 第29回淀川部会の内容…………… P. 1
- 第29回淀川部会の説明資料より抜粋…………… P. 3
- 配付資料リスト…………… P. 7
- 淀川部会 委員リスト…………… P. 8
- これまで開催された会議等について…………… P. 9
- 配付資料及び意見書の閲覧・入手方法・ご意見受付…………… P. 10

平成17年4月11日（月）、第29回淀川部会が行われました。



【京都リサーチパークにて】

## 第29回淀川部会の内容

審議資料1「河川整備計画進捗状況項目（実施）（調査・検討）」を用いて説明がなされた後、委員との意見交換が行われました。

### 第29回淀川部会結果報告

庶務作成

開催日時：2005年4月11日（月） 10：00～13：08

場 所：京都リサーチパーク4号館 地下1階 バズホール

参加者数：委員19名、河川管理者11名、一般傍聴者107名

#### 1. 決定事項

- ・淀川部会で議論すべきテーマに関して意見がある場合は、庶務に意見を提出する。
- ・部会の進め方について意見のある委員は庶務に意見を提出する。

#### 2. 報告の概要：第43回運営会議結果報告、テーマ別部会の委員構成について

庶務より、報告資料1「第43回運営会議結果報告」、報告資料2-1「部会委員構成一覧表」、報告資料2-2「部会の委員名簿」を用いて報告がなされた。

#### 3. 審議の概要

##### ①部会の進め方について

- ・地域部会の担当範囲は各河川事務所の担当区域となっており、現在のところ、淀川部会の担当は天ヶ瀬ダム貯留域の下流、木津川の笠置より下流、桂川全川となっている（部会長）。

##### ②事業進捗点検について

河川管理者より、審議資料1「河川整備計画進捗状況項目（実施）（調査・検討）」を用いて説明がなされた後、意見交換が行われた。主な意見は以下の通り（例示）。

##### ○治水-12-6 堤防補強（下津屋地区） 実施項目

- ・P15の横断図では、堤防法面に張芝をすとあるが、生態系を考慮した植生も考えるべき。  
→淀川環境委員会の委員からは、2～3年もすれば自然の植生に変わっていくため、最初は芝で問題はないとの意見を頂いている。また、浸食を考慮すれば張芝が一番望ましい（河川管理者）。  
→元の植生を残しておくことが大事。元の植生を残しておけば、そこから拡大していく。

##### ○環境-18 縦断方向の河川形状の修復の実施（小泉川） 実施項目

- ・天井川解消を考慮して、河床全体を下げるといったことは考えていないのか。  
→床止め工により河床は安定しているため、河床全体を下げることは考えていない（河川管理者）。  
→小泉川と本川の3mの落差が問題。全体の区間まで含めて考えないといけない。

##### ○治水-7-2 淀川高規格堤防整備事業（新町地区） 実施項目

- ・スーパー堤防事業は可能などところだけをパッチワーク的にやってもしょうがない。全体像を示した上で進めていかなければ駄目だ。
- ・堤防補強等に関しては5年程度先の目標や優先順位が示されなければ、計画通りに進んでいるかどうかかわからない。整備内容シートにスケジュールが示されてはいるが、おおざっぱだ。  
→堤防補強に関する点検結果がほぼ出ている。堤防補強に限定すれば、どれだけの箇所があり、どういうスケジュールと順番で整備していくかを示すことはできると思っている（河川管理者）。

##### ○計画-1 河川レンジャー 調査・検討項目

- ・「河川レンジャーの任命の基準」として「個人または団体であること」となっているが、団体を任命するのは問題ではないか。また、河川レンジャーの資格について整理しておく必要がある。  
→現在の試行では、団体の中の数名の個人を任命するという形をとっている。団体の活動内容の中で河川レンジャー活動としてふさわしいものについては河川レンジャーの活動だろうし、団体固有の活動があってもいいという整理をしている。河川レンジャーの資格については、あくまでもイメージ。必要な資格の整理はしていきたい（河川管理者）。
- ・伏見や福島の試行では、何人の河川レンジャーがいるのか。現在のところは直轄区間だけだが、指定

区間のニーズも高いのではないかと。

- 伏見では個人2名、福島では団体に所属されている2名。今後は出張所毎に10名程度までとされている。河川レンジャーの試行はまだ始まったばかりで、もう少し見通しが見えてこなければ、府県等へもアプローチしにくいという面もある（河川管理者）。
- ・今後は、長い目で河川レンジャーを広く募集して養成していくという方向も必要だろう。
- ・時間管理が重要だ。試行であれば、いつまで試行して効果をチェックするのか。仮説を立ててモニタリングして検証するアダプティブマネジメントをしていく必要がある。

##### ○治水-1 水害に強い地域づくり協議会（仮称） 調査・検討項目

- ・「ハザードマップについて住民から反応がない」とのことだが、今後、どう対応していくのか。  
→市町で地域をピックアップして住民説明会を開催して頂き、河川管理者が入って、場合によっては説明もするという具合に、市町ごとの独自性、自主性に基づいてやって頂こうと考えている。また、年に数回首長会議を開催する、住民説明会を2ヶ月ごとに開催する等、システマティックにトータルで意識が高まっていくというやり方で進めていこうとしている（河川管理者）。
- なぜ住民が安心してきているのか、分析が必要。小地域毎に潜在的な危険性と住民の洪水に対する意識をクロスさせていけば、危険性が高いのに住民の危機意識が低い地域が抽出できる。
- ハザードマップの内容が極端すぎるのが原因ではないか。全域が水没して、住民にとってはお手上げの状況という極端過ぎるマップでは、地元住民の手の届く範囲を超えている。

##### ○その他の意見

- ・河川管理者がどんなタイムスケジュールで計画を進めるのか、現在の資料ではわからない。河川管理者にどんな資料を出してもらおうかを委員会側が決めるべきだ。  
→どんな資料でどう議論を進めればよいか、文書で意見を提出して頂きたい（部会長）。
- ・事業評価を流域委員会が行うことになっているが、どのように進めていけばよいか。  
→事業の再評価の際には、あらためて、再評価の手順や規約のどの部分に該当するか等を示した上でお願いする（河川管理者）。
- 事業評価のサイクルやスケジュールに関して、次回委員会で説明頂けるとありがたい。

##### ○WG等設置の検討について

- WGで検討すべきテーマについて、意見交換が行われた。WGに関する主な提案は以下の通り（例示）。
- ・水害防除のWGを設置すべきだ。破堤を回避するためには、堤防補強と河道改修をどこでどのように実施すればよいか。優先順位を含めた工程表を作成し、川をどうしていくかについて詰めるべき。
- ・事業評価の手法や基準を検討するためのWGは必ず必要だ。
- ・琵琶湖部会と連携して、洗堰の水位操作のWGを設置する必要がある。
- ・下流域の水需要見直しを検討するためのWGが必要。また、大川の維持流量を検討するWGも必要。
- ・特に淀川は河川敷や水面の利用のウェイトが高い。WGで検討していく必要があるのではないかと。
- ・河川周辺のマスタープラン（都市計画）や都市サイドとの協議の仕方、モデルの編み出し方についてWGで議論ができればと思っている。
- ・利水に関しては、下水処理も問題ではないか。河川の中だけではなく、河川に流れ込んでくるものについてどう考えていけばよいか。また、直轄区間以外の区間との河川施策の連続性をどう考えるか。
- ・個別の整備内容シートに書かれている事業、例えばスーパー堤防事業は、都市計画、水環境、植生との連携が必要になる。それぞれについてシートを増やして評価する必要が出てくるだろう。
- ・淀川には様々な委員会があるが、委員会ごとに議論の棲み分けをしておいた方がよい。

#### 4. 一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者2名より発言があった。主な意見は以下の通り。

- ・委員には、「発言なし」というのはさけて頂きたい。知識を活かして頂きたい。発言の機会は十分にある。また、流域委員会ウォッチャーズの第2号を作成したのでよろしくお願いしたい。
- ・ハザードマップはより具体的な広報が必要だ。台風23号時の平野川の補償についてTVで放映されていたが、補償まで含めたハザードマップがあればよいのではないかと。



## 第29回淀川部会の説明資料より抜粋

### ■報告資料1より

第29回淀川部会では、報告資料1「第43回運営会議結果報告」を用いて庶務より説明が行われました。以下に、資料より一部を抜粋して掲載いたします。

第43回運営会議（2005. 3. 30開催）結果報告		2005. 4. 5 庶務発信
開催日時： 場所： 参加者数：	2005年3月30日（水）10:00～13:20 ばるるプラザ 6階 第3会議室 運営会議委員6名（委員長、副委員長、琵琶湖部会長、淀川部会長、木津川上流部会長、猪名川部会長）、河川管理者3名	
検討事項、 決定事項	<p>1. 決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ別部会は、カラスマプラザ21において、4月24日（日）に「住民参加」部会が13～15時、「利水・水需要管理」部会が15時30分～17時30分の予定で開催される。</li> <li>・委員間の意見交換の日程は、現地視察の前に5月に入ってから実施する方向で調整する。</li> <li>・次回の運営会議は、ばるるプラザにて5月10日（火）午前9時30分から開催、第41回委員会は、5月17日（火）16時～19時に開催する。</li> <li>・次回運営会議までに、地域別部会とテーマ別部会で、委員間の議論を通じて共通認識を図っていくなかで、WGのテーマ等について検討を進めていく。</li> </ul> <p>2. 審議内容</p> <p>(1) テーマ別部会の委員構成確定およびテーマ別部会の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人的にはバランスがとれており、所属していない部会にも出席は自由とする。個別部会での議論が全体でできるように、また、重要なテーマは、委員全員が議論できるように考えていきたい。部会での検討は、新委員との共通理解にたってもらいたい（委員長）。</li> </ul> <p>(2) 現地視察の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見書は、提言と意見書の部分、エキスの部分を説明して、意見交換していくのはいかがでしょうか。それから、課題（積み残しの部分）を説明すれば、到達点、課題のイメージがわくと思う。また、できれば懇親会を行いたい（委員長）。</li> <li>・勉強会的な形式で半日行い、それから行ってはどうか。</li> <li>・その方向で実施させてもらうことでどうか（委員長）。</li> </ul> <p>(3) 委員会規約第8条2項の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同部会に参加した際の出席者のカウントをどうするのか。少なくともカウントの仕方は定足数を満たす必要がある。また、合同部会、単独部会、テーマ別部会では原則として議決を行わない（委員長）。</li> <li>・部会等は協議の機関として位置づける。</li> </ul> <p>(4) 会議運営の改善、経費節減の提案について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会が経費削減を図る必要は大きく、無関心というのはいけな。次回委員会で、委員長から経費削減についての提案を行いたい（委員長）。</li> <li>・事前協議の方法を考える必要がある。委員会の際の事前協議は、運営委員会として行うことにしたい（委員長）。</li> </ul> <p>(5) 次回の各地域別部会の議事次第について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業進捗の点検およびWG設置の検討は、各地域部会での共通の審議事項である。</li> <li>・部会長にお任せすることなので、本日、決まったことを伝えて欲しい。また、どういうテーマを対象としてWGをつくるかの議論をして欲しい（委員長）。</li> </ul>	

### ■審議資料1より

第29回淀川部会では、審議資料1「河川整備計画進捗状況項目（実施）（調査・検討）」を用いて河川管理者より説明がなされた後、委員間で意見交換が行われました。以下に、資料より一部を抜粋して掲載いたします。

○環境-10 治水-12-6-2  
横断方向の河川形状の修復を実施、堤防補強



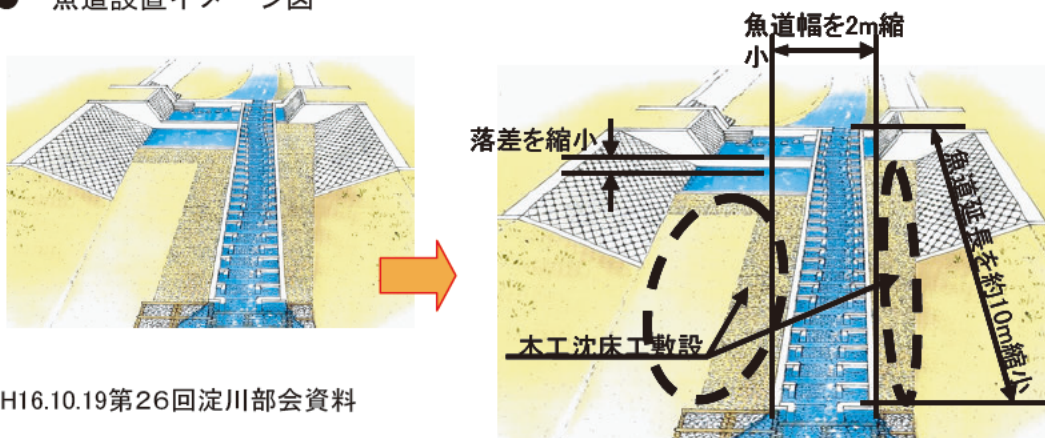


○環境－18  
縦断方向の河川形状修復の実施（魚類の遡上・降下）（小泉川）

- 小泉川の現状
  - ・ 落差が50cm以上、魚介類の遡上は不可能。
  - ・ 左右岸の勾配も急で、甲殻類の移動も困難と考えられる。



● 魚道設置イメージ図



H16.10.19第26回淀川部会資料



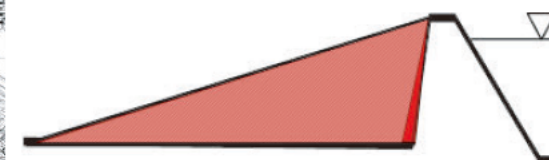
【平成17年4月11日時点】

○治水－7－2  
淀川高規格堤防整備事業（新町地区）

●位置図



●断面図



●現況写真



スーパー堤防の整備にあたっては、枚方市、関西医科大学と連携し、良好な街づくりを図っています。

- **国交省の防災ヘリポートを緊急医療で活用**  
国交省の枚方防災ヘリポートを関西医科大学が共同利用することにより、高度な先進医療が可能な広域救急医療拠点の機能を強化します。
- **河川公園をリハビリ空間として活用**  
スロープを傾斜の緩やかなバリアフリー構造とするなど、入院中の方々が淀川河川公園をリハビリテーションの場などに利用できるようにします。
- **水辺へのアクセスを容易に**  
工場により隔てられていた中心市街地から水辺へのアクセスを改善し、市民の方々が気軽に水辺にふれあえるようにします。

【平成17年4月11日時点】



## 配付資料リスト

### ●第29回淀川部会 配付資料

資料リスト		資料請求 No
議事次第		Y29-A
報告資料1	第43回運営会議結果報告	Y29-B
報告資料2-1	地域別部会・テーマ別部会委員構成一覧表	Y29-C
報告資料2-2	各地域部会の委員名簿	Y29-D
審議資料1	河川整備計画進捗状況項目（実施）（調査・検討） ※河川管理者提供資料	Y29-E
その他資料	委員会における今後のスケジュール	Y29-F
参考資料1	委員及び一般からのご意見	Y29-G
参考資料2	琵琶湖・淀川流域圏の再生計画 ※河川管理者提供資料	Y29-H
参考資料3	脱ダムを阻む「基本高水」大熊孝氏 大熊孝氏の「脱ダム」治水論を批判する 福岡捷二氏	Y29-I

注：紙面の都合上、資料内容は省略しています。資料をご覧になりたい方はP. 10の「配付資料及び意見書の閲覧・入手方法」をご覧ください。

## 淀川部会 委員リスト

2005. 4. 8現在  
(五十音順、敬称略)

No.	氏名	対象分野	所属等	兼任状況
1	綾 史郎	洪水、高潮・津波	大阪工業大学 教授	琵琶湖部会
2	今本 博健	洪水	京都大学 名誉教授 水工技術研究会 会長	猪名川部会
3	岡田 憲夫	事業評価	京都大学防災研究所 教授	木津川上流部会
4	荻野 芳彦	農業関係	大阪府立大学 名誉教授	木津川上流部会
5	嘉田 由紀子	地域・まちづくり	京都精華大学 教授 滋賀県立琵琶湖博物館 研究顧問	琵琶湖部会
6	金盛 弥	洪水	元大阪府副知事	猪名川部会
7	川上 聡	住民連携	NPO法人 全国水環境交流会 理事 木津川源流研究所 所長	木津川上流部会
8	川崎 雅史	景観	京都大学大学院工学研究科 助教授	琵琶湖部会
9	澤井 健二	河川敷・水面利用	摂南大学工学部 教授	猪名川部会
10	高田 直俊	洪水、 河道形状・土砂移動	大阪市立大学 名誉教授 社団法人 大阪自然環境保全協会 会長	猪名川部会
11	田中 真澄	住民連携	岩屋山志明院 住職 鴨川の自然をはぐくむ会 代表 NPO法人 市民環境研究所 副代表	琵琶湖部会
12	千代延 明憲	住民連携	流域住民	猪名川部会
13	寺川 庄蔵	住民連携	びわ湖自然環境ネットワーク 代表	琵琶湖部会
14	寺西 俊一	経済	一橋大学大学院経済学研究科 教授	琵琶湖部会
15	西野 麻知子	動物	滋賀県琵琶湖研究所 総括研究員	琵琶湖部会
16	本多 孝	住民連携	IPNET-Jインタープリテーションネットワーク・ジャパン 事務局長	猪名川部会
17	水山 高久	治山・砂防	京都大学大学院農学研究科 教授	木津川上流部会
18	村上 興正	生態系、動物、景観	同志社大学 嘱託講師	猪名川部会
19	安田 喜憲	水文化	国際日本文化研究センター 教授兼副所長	琵琶湖部会
20	谷内 茂雄	生態系	総合地球環境学研究所研究部 助教授	琵琶湖部会

### ●淀川部会以外の参加委員

No.	氏名	対象分野	所属等	兼任状況
-	寺田 武彦	法律	弁護士（元日弁連公害対策委員会委員長） 龍谷大学法学部 教授	-
-	三田村 緒佐武	生態系、住民連携	滋賀県立大学環境科学部 教授	琵琶湖部会 木津川上流部会

## これまで開催された会議等について

第29回淀川部会（平成17年4月11日）までに、以下の会議が開催されています。

委員会	琵琶湖部会	淀川部会	猪名川部会
第1回～第6回 平成13年開催	第1回～第8回 平成13年開催	第1回～第10回 平成13年開催	第1回～第6回 平成13年開催
第7回～第15回 平成14年開催	第9回～第20回 平成14年開催	第11回～第20回 平成14年開催	第7回～第17回 平成14年開催
第16回～第27回 平成15年開催	第21回～第27回 平成15年開催	第21回～第23回 平成15年開催	第18回～第20回 平成15年開催
第28回 H16/2/26 (木)	第28回 H16/10/13 (水)	第24回 H16/8/25 (水)	第21回 H16/9/1 (水)
第29回 H16/5/8 (土)	第29回 H16/11/8 (月)	第25回 H16/9/17 (金)	第22回 H16/10/21 (木)
第30回 H16/6/22 (火)	第30回 H16/12/15 (水)	第26回 H16/10/19 (火)	第23回 H16/11/2 (火)
第31回 H16/7/29 (木)	第31回 H17/1/8 (土)	第27回 H16/11/30 (火)	第24回 H16/12/3 (金)
第32回 H16/8/24 (火)	環境・利用部会	第28回 H16/12/18 (土)	第25回 H16/12/23 (木)
第33回 H16/9/29 (水)	第1回～第7回 平成15年開催	ダムWG	3ダムサブWG
第34回 H16/10/25 (月)	治水部会	第1回 H16/7/11 (日)	第1回 H16/8/7 (土)
第35回 H16/11/16 (火)	第1回～第6回 平成15年開催	第2回 H16/7/18 (日)	第2回 H16/9/11 (土)
第36回 H16/12/20 (月)	利水部会	第3回 H16/7/25 (日)	第3回 H16/11/8 (月)
第37回 H17/1/11 (火)	第1回～第5回 平成15年開催	第4回 H16/8/19 (木)	川上ダムサブWG
第38回 H17/1/22 (土)	住民参加部会	第5回 H16/9/23 (木)	第1回 H16/8/3 (火)
第39回 H17/2/5 (土)	第1回～第7回 平成15年開催	第6回 H16/10/4 (月)	第2回 H16/9/3 (金)
第40回 H17/3/14 (月)		第7回 H16/10/18 (月)	余野川ダムサブWG
設立会 発足会 第1回 合同懇談会	平成13年開催	第8回 H16/11/10 (水)	第1回 H16/8/11 (水)
第1回 合同勉強会 シンポジウム 拡大委員会	平成14年開催	第9回 H16/12/1 (水)	第2回 H16/9/22 (水)
提言説明会	平成15年開催	第10回 H16/12/5 (日)	
その他		しっかりしてや!! 流域委員会	H16/2/28 (土)
		ファシリテーターとの 検討会	H16/5/15 (土)
		大戸川、天瀬ダム意見交換	H16/9/26 (日)
		丹生ダム意見交換会	H16/9/27 (月)
		住民の意見を聞く会	H16/12/5 (日)

## 配付資料及び意見書の閲覧・入手方法

以下の方法で資料及び意見書を閲覧、または入手することができます。ただし、以下の点にご注意下さい。  
 ・当日会場で部数の関係上、一般傍聴者に配付されなかった資料は、閲覧のみ可能とさせていただきます。  
 ・当日会場で一般傍聴者に配付された資料で原本がカラーの資料は、白黒での提供となります。カラーの資料を希望される場合にはコピー代を実費でいただきます。なお、カラー資料についてはホームページ等での閲覧は可能です。

### ホームページによる閲覧

配付資料及び意見書は、ホームページで公開しております。

### 郵送

郵送による配付資料の送付を希望される方には、送料実費にて承っております。（希望部数が多い場合、またカラーの資料を希望される場合はコピー代も実費でいただきますので、予めご了承ください。）ご希望の方は、FAXまたは郵送、E-mailで庶務までお申し込みください。

### 閲覧

資料の閲覧を希望される方は、庶務までご連絡ください。

### 「意見書」の入手

意見書の送付を希望される方は、氏名、郵便番号、住所、団体・会社名、電話番号と「意見書希望」を明記のうえ、下記までご連絡ください。

※頂いた個人情報については、上記資料及び意見書の送付のみに使用させていただきます。

## ご意見受付

淀川水系流域委員会ではみなさまのご意見を募集しています。  
 ホームページ、E-mailまたはFAXにてお寄せ下さい。

※氏名、郵便番号、住所、団体・会社名、電話番号をご記入のうえ、下記までお寄せ下さい。  
 ※寄せられたご意見は公表させていただく場合がございます。公表に支障がある場合にはその旨も併せてご記入いただきますよう、お願いいたします。

※ご意見を公表する場合には、団体・会社名（または居住地）とお名前も公表いたしますので予めご了承下さい。  
 ※ご記入いただいた個人情報については、上記の意見の公表のみに使用させていただきます。

■ホームページ <http://www.yodoriver.org>

■E-mail [yodogawa@gene.mizuho-ir.co.jp](mailto:yodogawa@gene.mizuho-ir.co.jp)

■TEL 06-6222-5870

■FAX 06-6222-5871

淀川水系流域委員会 庶務  
 みずほ情報総研(株)



---

## 淀川水系流域委員会 淀川部会ニュース No. 29

---

2005年5月発行

【編集・発行】淀川水系流域委員会

【連絡先】淀川水系流域委員会 庶務

みずほ情報総研 株式会社

.....  
研究員：吉岡、篠田、鈴木、熊谷、松本  
事務担当：山根

〒541-0042 大阪市中央区今橋4-2-1（大阪富士ビル8階）

TEL: (06) 6222-5870 FAX: (06) 6222-5871

E-mail: [yodogawa@gene.mizuho-ir.co.jp](mailto:yodogawa@gene.mizuho-ir.co.jp)

●流域委員会ホームページアドレス  
<http://www.yodoriver.org>

◆ニュースレターは以下の機関でも配布しています。

国土交通省 近畿地方整備局／淀川河川事務所／琵琶湖河川事務所／大戸川ダム工事事務所／淀川ダム統合管理事務所／猪名川河川事務所／猪名川総合開発工事事務所／木津川上流河川事務所／水資源機構 関西支社／滋賀県 土木交通部河港課／京都府 土木建築部河川計画室／大阪府 土木部河川室／兵庫県 土木局河川計画課／奈良県 土木部河川課／三重県 伊賀県民局 等

\*ニュースレターは最新号、バックナンバーともに、ホームページでもご覧頂けます。